

経済法Ⅱ

科目ナンバリング SOL-304
選択 2単位

徳力 徹也

1. 授業の概要(ねらい)

経済法の中核である競争法(独占禁止法)の概要と企業結合(合併等)規制を説明します。これを通じて競争法の概要・意義を理解してください。その上で、最近の重要問題(GAFA等のプラットフォーム・ビッグデータ等)に対する競争法の取組みを説明します。

市場経済は、全ての経済問題を解決できません。授業では、市場の失敗等に対処する経済規制(事業法)の必要性・その概要等を説明します。また、関連して経済規制等に伴う問題点・政府の失敗についても説明します。

必要に応じて、みなさんの間で独占禁止法上の問題を討議していただきます。

2. 授業の到達目標

本講義は、独占禁止法・事業法(経済規制等)の理解を通じて、「基本的な知識を有し、その分野の全体像を見渡したうえで、論点を把握することができる」ようになることを目標とします。

特に、受講生において、我が国の経済ルールの在り方について、新聞等の報道内容を理解して議論できるようになること(「新聞で報道されている規制見直しは、〇〇との目的を有している。しかし、××との弊害が生じるおそれがある。これらを考慮して、私は、この見直しに賛成／反対である」との議論を行えるようになること)を最終的な目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に期末試験結果(50%)、課題提出・小テスト・授業での発言等(50%)に基づき評価します。

(専らオンライン授業となった場合、期末試験を行わず、オンラインでの課題提出状況・小テストに基づき評価します。)

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

泉水文雄『経済法入門』 有斐閣

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを配布・LMS掲載するので、当該レジメを読んでください。

レジメ記載の課題について、各自が検討し、レポート提出又は発表(適宜指名)してもらいます。

なお、経済活動に係る新聞記事等を日常的に読むように努めてください。

6. その他履修上の注意事項

自分が政策担当者・ビジネス法務担当者になったつもりで、「どのような経済システム・経済ルールが望ましいか」などの問題意識を持ってください。

なお、授業中の私語は、厳禁です。

7. 授業内容

- 【第1回】 (春期の復習)市場経済システム(競争)の機能・メリットは？
競争ルールとしての独占禁止法の必要性・その内容は？
- 【第2回】 新聞に「A社とB社の合併に関する独禁法の問題」と書いてあった。
独占禁止法は、合併等(M&A)を何故・どのように規制しているだろうか？
最近の合併等規制事例を検討しよう。
- 【第3回】 前回の続き・・・
最近の合併等(M&A)規制に関する事例を検討して理解を深めよう。
- 【第4回】 最近の経済問題に関する検討①：標準化と競争法(サムスン・アップル事件等)
+ネット取引と競争法(EU:Coty事件等)
- 【第5回】 最近の経済問題に関する検討②：GAFA(支配的プラットフォーム)と競争法 i
(総論+EU:Google事件等)
- 【第6回】 最近の経済問題に関する検討③：GAFA(支配的プラットフォーム)と競争法 ii
(我が国の最近の取組状況：立法措置等)
- 【第7回】 市場の失敗と経済規制等①(総論・情報の非対称性：許可制等の参入規制)
- 【第8回】 市場の失敗と経済規制等②(公共財・外部性)
- 【第9回】 市場の失敗と経済規制等③(規模の経済性：電力産業の規制とその見直し状況)
- 【第10回】 格差は正と経済規制(既存事業者保護のための輸入・参入規制等)
(補)効率性と平等性の関係
- 【第11回】 政府の失敗(政府が正しい経済規制を行えるだろうか？)
最近の経済規制の見直し状況(経済・社会の変化に応じた事業法の見直し等)
- 【第12回】 経済規制(事業法)の法的問題①：憲法(「営業の自由」)との関係：業事法違憲判決等
- 【第13回】 経済規制(事業法)の法的問題②：競争制限的な行政立法・行政指導等の問題 i
- 【第14回】 経済規制(事業法)の法的問題③：競争制限的な行政立法・行政指導等の問題 ii
- 【第15回】 まとめと期末試験